

指定管理施設（ 総合福祉センター ）事業評価表
障害者福祉センター事業分

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度 評価 H28 年度	平成28年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、 自己評価
			回数	実施日	ねらい		実施回数 (回)	参加延べ人 数(人)	
社会生活 適応訓練	1	がんばろう会 ・主に知的障害者対象 ・日常生活訓練 ・家事訓練 ・外出訓練	48	毎週月曜日 (第4月曜 午後を除く)	・地域で自立して生活できるよう、自主性を尊重し、利用者同士の話し合いにより活動内容を決めて実施する。 ・集団でレクリエーションを交えながら活動することで、仲間づくりや社会ルールを身に付ける。 ・買物に出掛けたり、簡単に出来るおやつや昼食作りをする事で、生活する力を身につける。 ・屋外活動を体験をする事で、社会ルールを学ぶ。		52	537	・教室の内容は、自主性を尊重し、利用者の話し合いによって決定した。 ・調理実習では、簡単に出来るものを考え、一人でも簡単に家庭で出来るものを、取り入れるように工夫した。 ・参加者で相談し、JRを利用して目的をもって買い物に出かける機会を設けた。 ・切り絵やちぎり絵等、作品展への出品に向けて作品を制作し、集中力を養うとともに、完成の喜びを味わうことができた。 ・JRを利用して鶴舞公園に花見に出かけ、個人では体験することができない外出の機会ができた。 ・個人では体験することが難しいカラオケに利用者全員で出かけ、交流することができた。 ・ビーンボウリングや輪投げ、卓球、公園散策等の機会を設け、楽しみながらスポーツや運動をすることができた。
		小計	48	—	—	13	52	537	
創作活動	1	ふれあい教室 ・主に重度心身障害者対象	50	毎週木曜日	・意欲と能力に応じて生き生きとした生活を送れるよう支援する。 ・自立支援や仲間作りをする。		40	565	・利用者、家族共に高齢化が進んできており、相談支援事業所と連携をしながら進めていくことが重要となっている
		俳句教室 ・講師の指導により実施	24	第1・3火曜 午前	・自分の気持ちを俳句で表現することにより自分を見つめ直す事を目的とする。		24	181	・利用者の励みとなるよう、文芸祭等色々な作品展に出品した。今後も継続していきたい。
		絵手紙教室 ・講師の指導により実施	12	第4火曜 午後	・自分の作品を作るとともに、他の参加者作品と比較し、交流を深める。		13	107	・毎月利用者がとても楽しみにされており、作品も腕が上がってきた。
		切り絵教室	24	第2・4金曜 午前	・細かい作業をする事で指先のリハビリにつなげる。 ・完成した時の喜びを期待する。		23	171	・特別な講師はなく職員が対応し、利用者同士、利用者と職員と和気あいあいと行った。 ・長年続いている教室のため、利用者の技術も向上している。
		ちぎり絵	12	第4月曜 午後	・誰でも参加できる簡単な画材から始め、表現力集中力・根気さと指先のリハビリにつなげる。		12	93	・集中力と根気さを身に付ける良い機会となっている。 ・利用者の方が、講師となり作品作りをしている。
		水墨画・習字教室	24	第1・3金曜 午後	障がいのある講師の指導により、ハンディがあっても行動する大切さを学ぶ。		24	178	・月2回の開催日を、習字、水墨画どちらでも行える事とし利用者のニーズと人数の確保に努めたため、利用者も安定した。
		小計	146			13	136	1,295	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度 評価	平成28年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、 自己評価
						H28 年度			
スポーツ・レクリエーション	1	がんばろう会 ・主に知的障害者対象 ・スポーツ活動	12		健康の維持増進と身体機能の向上、社会性や協調性を養う。		10	73	・毎月1回のため、利用者はとても楽しみにしている。 ・利用者独自で曲に合わせてダンスを創作し、披露する機会を設定。自信につなげていく。
		レクリエーションダンス ・主に知的障害者対象 ・講師の指導により実施	12	第2月曜日 午後	身体を使ってエネルギーを発散する。 ・仲間と同じ目的に向かって行動する ・発表の機会を設けて、達成感を味わう。		11	73	・利用者の希望を聞きながら、レクリエーション的な事を取り入れ、楽しく体を動かせる事が出来るようになってきた。
		サウンドテーブルテニス ・主に視覚障害者対象	12	毎週水曜日 午前 (第4週を除く)	・視覚障害者の方の楽しみなスポーツであり仲間と楽しむ。		12	45	・ボランティアの協力により実施した。 ・ <u>視覚障がいの方にとっては良い運動する機会になっている。</u> ・仲間と一緒に出来ることの喜びを味わう事ができた。
		3B体操	12	第2火曜日 午前	・楽しく運動機能の維持を図る。		22	166	・体を動かす教室のニーズが高まりつつある。 軽度で楽しく出来る教室であるため人気がある。
		風船バレー	24	第1・3金曜日 午前	・楽しみながら身体を動かし運動不足の解消と身体機能の維持を図る。		24	198	・座ったままで体を動かすことができる教室として楽しく参加されている。 ・性別でチームを分ける等、白熱したゲームを楽しんでいる。
		軽スポーツ ・機能訓練	24	第1・3水曜日 午後	・理学療法士の指導のもと専門的に身体機能の維持を図る。		23	229	・ <u>ゲーム感覚で楽しい中にも理学療法士のプログラムによる専門的な内容となっている。</u> ・安定的に人気のある教室になっている。
		ヨガ教室（イス）	24	第2・4金曜日 午前	・車椅子の方やマットに横にない方を対象とする。		23	150	・身体の状態等にに合わせて座位と仰臥位で実施している。 ・参加者からは、身体的・精神的にも大変安らぎ、気持ちが落ち着くと好評である。 ・ <u>呼吸の仕方を整えることで、精神面にも非常に効果が高い。</u>
		ヨガ教室（マット）	24	第2・4金曜日 午後	・自分に合った動きと呼吸により、身体機能の維持と精神の安定を図る。		23	156	
		小計	144			12	148	1,090	
更生相談	1	障がい者にかかる相談全般	36	随時	・身体状況、生活状況、福祉制度等の相談や介護方法の助言を行う。		12	20	・利用者からの相談を聞き、より良いサービスにつなげるとともに精神的安定を図った。 ・一般相談は減少傾向にある。 ・障害者センター利用者による生活相談、悩み相談、行政への手続きの相談は依然と多くある。
		小計	36			12	12	20	
リハビリ指導	1	リハビリ指導	91	毎週水・金曜日	・身体機能の保持、機能回復を支援する。		94	764	・鍼灸マッサージ士によるマッサージの身体リハビリを実施した。 ・水、金曜日の午前の教室利用者を対象に実施した。 ・教室利用者以外の方への実施について検討を要する。
		小計	91			13	94	764	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度 評価 H28 年度	平成28年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、 自己評価
送迎サービス	1	福祉タクシーによる送迎		随時	障がいにより通所が困難な方を対象に、自宅からセンターまでの送迎を実施する。		249	2,506	・通所が出来ない障害者の方には大変良いサービスであるが、朝の送迎をピストンで2回行うため、最初の方は早く障害者センターに来館しなければならないデメリットがある。 ・委託で行っていたため早く来館された方には、職員が対応でき、コミュニケーションが取れた。 ・29年度は、委託から職員による送迎に変更。
		小計	0			14	249	2,506	
その他	1	障がい者レクリエーション交流会	1	7月3日	・誰でも参加できる軽スポーツで障がい者、介護者、ボランティアの交流を図る。	13	1	87	・年に1回集う行事として、障がい者団体の会員同士の良い交流の場になっている。 6/4 牧歌の里(郡上市) 52名 9/3 観光ヤナ・紙すき体験(美濃市) 29名 3/4 イチゴ狩り(半田市) 22名 ・実施前に資料収集や現地との打ち合わせ、下見を念入りに行い、行動に支障が生じないように留意した。 ・日帰り旅行は好評であり、今後も行先を検討しながら継続実施したい。 ・検討課題としては、新規利用者の拡充。 4/4 花見 6/29～7/7 セタ 12/17 クリスマス ・伝統行事や季節行事をする事で、日本文化を大切に思う心養うとともに季節感を味わった。 4/4 市(新規採用)職員 16名 6/28 個人 1名 7/22 滝呂児童センター 3名 7/23 大原児童館 21名 10/13 市之倉小学校 67名 11/1 根本小学校 114名 12/9 精華小学校 72名 ・小学校の児童や児童館の利用者等に車イス体験を重点的にを行い、福祉や障がい者への関心を持てるよう講話と実技指導を行った。 ・障がいの種別を問わず参加出来るため、障がいを越えて交流が出来ている。 ・発表の場を作る事でやる気と自信が持てた。
		障がい者バスツアー	3	6月4日 9月3日 3月4日	・日ごろ外出する機会の少ない障がい者の方に外出する機会を提供し、家族、友人、ボランティアと一日楽しく過ごす。	12	3	93	
		季節行事	3	4月4日 6月29日～ 7月7日 12月17日	・伝統、文化の継承	13	3	24	
		福祉体験	6	随時	・福祉体験、福祉講座を行う事により、障がい者への理解を深てもらう。 ・将来の福祉人材育成のきっかけ作り。	13	7	294	
		音楽療法	24	第1・3火曜 午後	・精神的安定と嚥下機能の向上を図る。	12	22	181	
		小計	37			13	36	679	

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			年度 評価	平成28年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、 自己評価
						H28 年度			
その他（続き）	2	障がい者団体意見交換会	1	4月22日	・各障がい者団体一緒に意見交流をし、事業の参考にする。	12	1	15	・各障がい者団体の近況報告や意見交換とともに、障害者センターの事業の紹介、協力を依頼した。
		交流事業	5	随時	・複合施設の利点を活かすとともに、社協が運営する他施設との交流を図る。	14	3	35	・ <u>優が丘、なごみの杜かさばら、太平デイサービスセンター、母子・父子福祉センター等と交流をし、お互いを知る機会となった。</u>
		単発教室	3	8月22日 9月10日 1月31日	・通常のセンター利用者だけではなく、広く市内全体に向け募集することで、障害者センターのPRと利用者拡大を図る。	14	3	30	8/22 ネイル講座 10名 9/10 蕎麦打ち体験 15名 1/31 園芸講座 5名 ・通常の教室の予定のない第5週と土曜日に開催した。 ・少人数であったが、交流しながら和気あいあいと実施できた。
		土曜教室(フレンド)	12	第3土曜	・障害者事業所を利用している方の余暇活動と仲間作りの機会を提供する。	14	11	117	・利用者も徐々に増えつつある。 ・仲間づくりをしながら、余暇の時間を仲間と一緒に楽しめた。
		小計	21			14	18	197	

（留意事項） ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。

・仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点